



2つ持っている生き物

ムルンギシ・マドララ

ジェシー・ブレイテンバッハ

日本語：シミズ マホ



幼児期からの
おうち算数

Early
Family
Math



Interactive Story

日本語

保護者の方へ

発語の前段階 お子さんが言葉を話したり理解できたりするようになる前から、形、色、比較や量など、目に見えるものを指差し、名前を付けて説明するなどして話しかけましょう。お子さんが言葉を理解し始めたら、たとえば「ボールはどこ？」というように、ある物について尋ね、お子さんに指差しさせてみましょう。もしお子さんが見つけれない場合は代わりに指差しあげてください。

発語初期 お子さんが言葉を理解し、話し始めたら、簡単な質問を混ぜてください。必要に応じて自由に答えを手助けしてあげてください。たとえばあなたが指差しして「これは赤？」と聞いてもお子さんがわからない場合は、答えを教えてあげます。また、「ブロックを数えて」と指示してもお子さんがどのようにするのかわからなかったら、指差しながら「いち、に、さん…」と一緒に数えてあげてください。

算数のテーマと単語 このお話には、7までの数え方と形が登場します。単語の練習：小さい数（特に1と2）、「より多い」「等しい」「同じ」「より少ない」などの比較の単語。「正方形」「円」「立方体」「縞模様」「大きい」「小さい」が登場します。

楽しく読んで話しましょう！ 書かれている質問やコメントはほんの一例に過ぎません。

1 回目は赤の質問とコメントを読みます。

2 回目は青の質問とコメントを読みます。

3 回目は緑の質問とコメントを読みます。

その後はお子さんの興味に合わせて、楽しい方向に話を進めてください。



イザンザウ家は幸せな家族だった。子供たちは両親から料理、園芸、狩猟を学んだ。

1. どうして植物には水やりが必要なの？
2. この絵の中で使われている色を指さして名前を言おう。
3. この絵で使われている緑色はどのように似ていて、どのように違う？

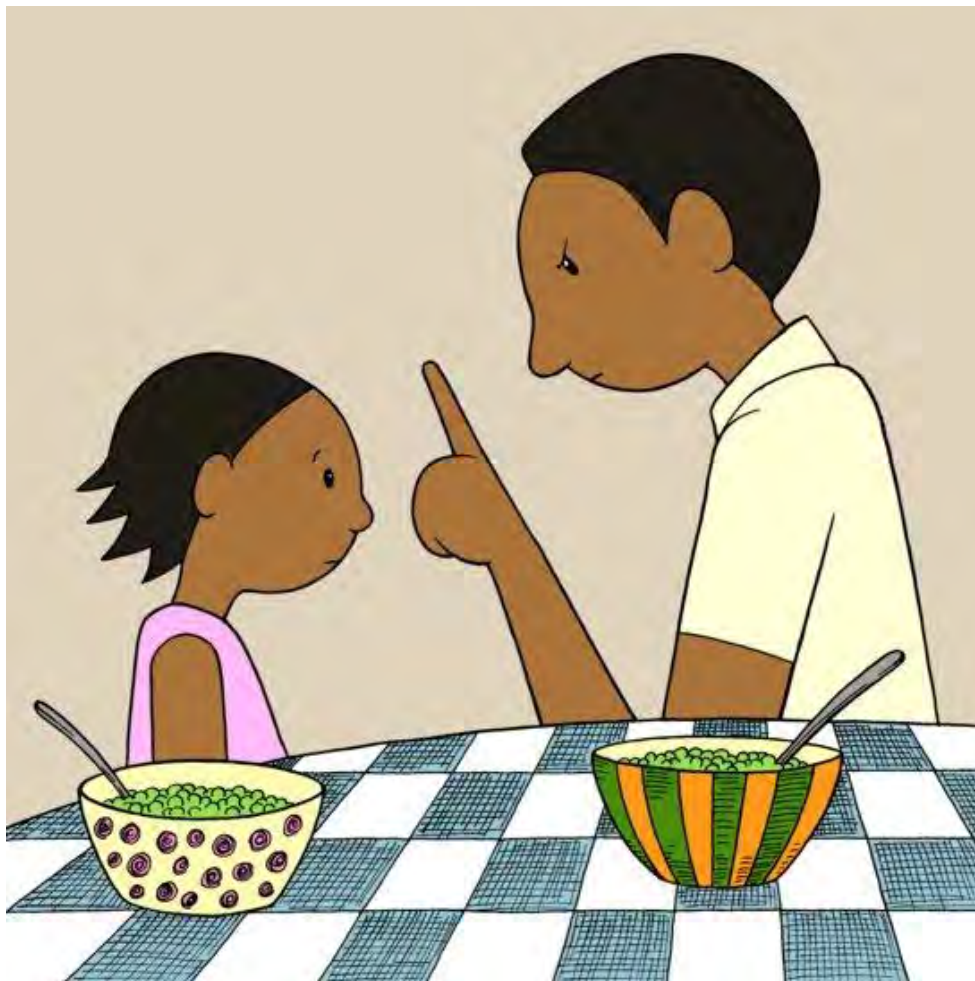


毎日夕食時に、彼らはその日にしたことについて話した。

1. 正方形とは、このページのように4つの辺が等しい形のこと。テーブルクロスは、正方形がたくさん並んだチェック模様になっている。君のいる場所で、正方形の模様を見つけよう。

2. この絵の中で見つけられる形は何かな。

3. この家族は夕食時にその日のことを話す。君は夕食の時、どんな話をする？



父親は普段から、子供たちに森の奥に行かないようにと注意していた。父親は家族に、森に住む不思議な生き物の話をした。「この生き物は私たち2人を合わせたようなものだ！」

1. 父親が言う「不思議な生き物」はどんな姿をしていると思う？

2. この絵にはどんな模様があるかな？

3. このページのお椀は前のページのお椀とどう違う？



ある日、女の子たちは川で遊んでいた。突然、木の陰から不思議な生き物が現れた！その生き物は目が2つ、耳が2つ、腕が2本、足が2本あった。

1. その「不思議な生き物」は、君が想像していた通りかな？
2. この絵にいる子供たちを指さして数えよう。
3. この絵には女の子と男の子のどちらが多い？



恐怖に震えながら、女の子たちは兄弟たちに見たことを伝えるに走った。しかし兄弟たちは信じなかった。「女の子たちはふざけている！」と彼らは言った。

1. 子供が4人、頭が4つ。足は何本見える？腕は何本見える？それに驚いた？

2. この絵には女の子と男の子のどちらが多い？

3. 子供たちの口と眉を見てみよう。子どもたちの表情から、彼らは何を考え、何を感じているのか分かる？

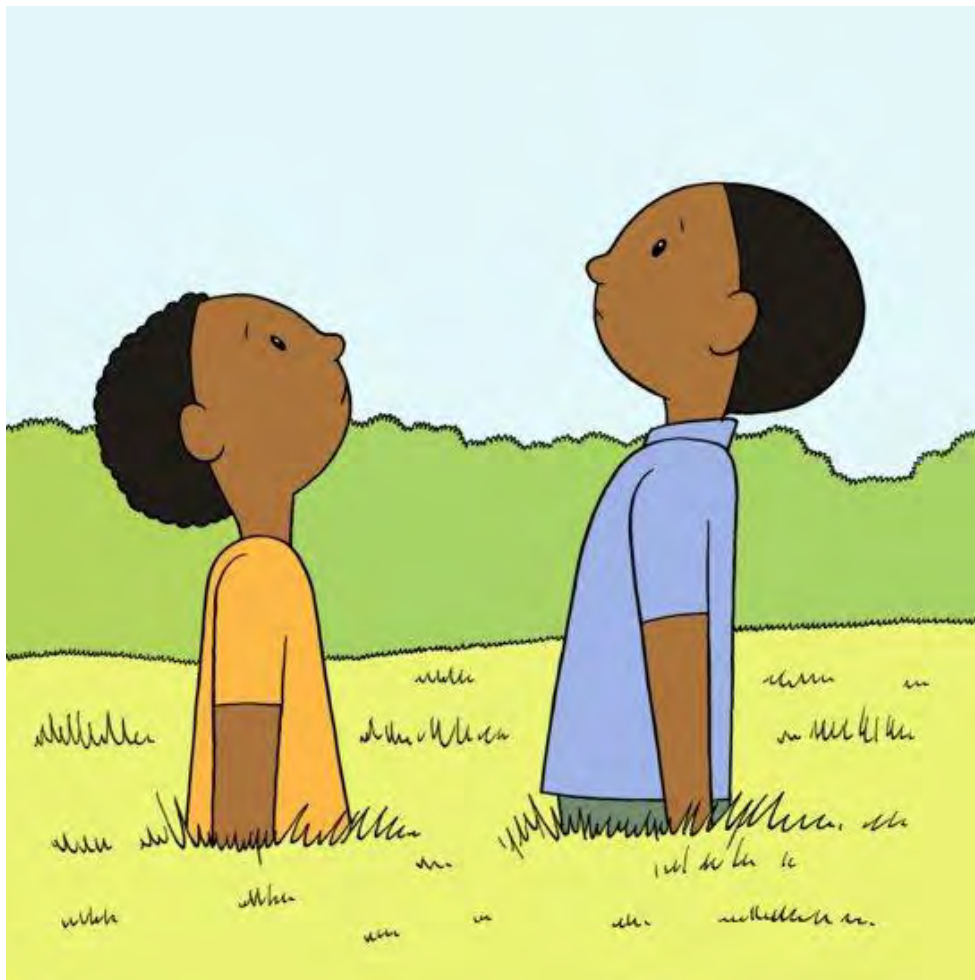


やがて、男の子たちは好奇心に負けた。自分たちの目でこの不思議な生き物を見ようと、女の子たちの後を追って川へ向かった。

1. この絵に描かれている子供たちの大きさから、女の子たちが遠くにいて男の子たちが近くにいることがどうやって分かる？

2. どうして女の子たちは茂みの奥にいるの？

3. 草、茂み、木々の緑の濃さが違う。君のいる場所にも、濃淡の異なる色がある？



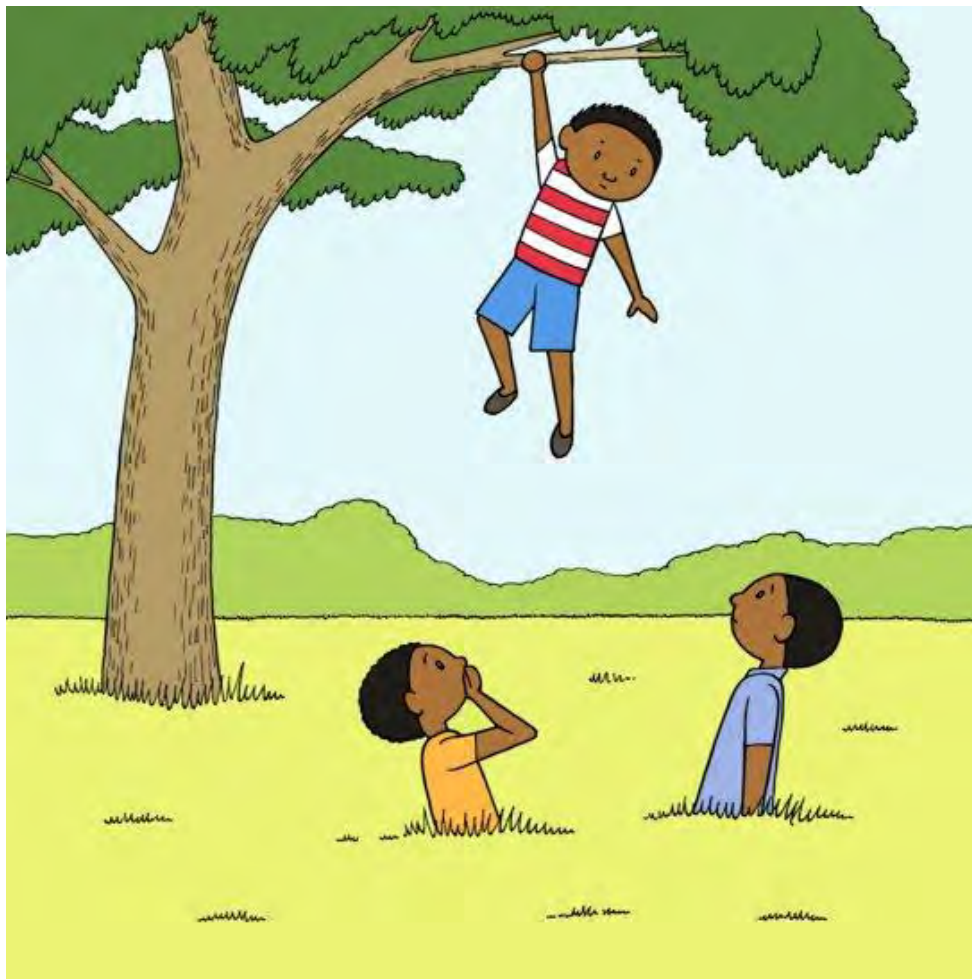
探しても探しても、
見えるのは背の高い
草や木だけだった。

すると突然、物音が
したので見上げた。

1. あの音は何だと思う？

2. 私たちの頭上で音を立て
るのはどんなものだろう？

3. 本当に背の高い草だ！彼
らの体のどの部分まで草が
伸びているのだろう？



木に登ったその生き物は、見たこともないような不思議なものだった。その生き物は2本の手と2本の足を持っていた。彼らのように1本ずつではなく。

1. 彼らの家族にはそれぞれ何本の腕、足、手、目がある？

2. 君は、この家族1人1人の見えない側にも、見えている側と同じように腕や足、手、目があると思い込んでいなかった？

3. 何かの片面しか見ていないとき、もう片面も同じように見えると思いがちだ。それは、君が見ているものを鏡に映したようなものなのだ。



怯えた子供たちは家に逃げ帰り、両親を呼んだ。間もなく、家族全員がその生き物を見るために川に集まった。

1. この絵の中にある腕の数を数えよう。1人につき2本の腕があるとしたら、何本の腕があるかな？

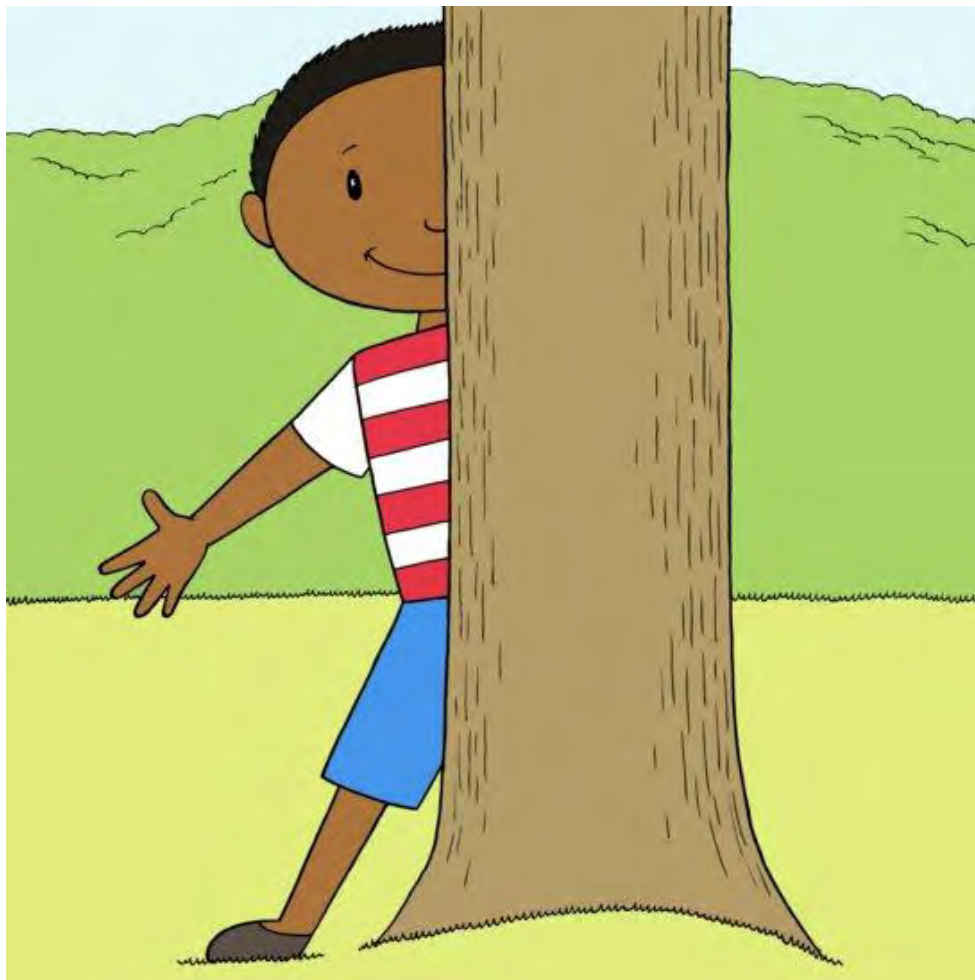
2. 腕と足は手足と呼ばれる。この家族には何本の手足がある？

3. 草が伸びていたのに、今は短いことに気づいた？誰かが草を刈ったの？



「ぼくを傷つけないで！」と生き物は木の陰に隠れながら言った。今、家族にはその生き物の片方の足、片方の手、片方の腕、片方の目しか見えなかった。

1. その生き物は木の陰に隠れている。君はどこに隠れるのが好き？
2. その生き物が木の陰に半分隠れると、それぞれの家族にそっくり。なぜだろう？
3. その生き物は「多勢に無勢だ」と感じている。家族は何人いて、生き物は何人いる？どちらが多く、どちらが少ない？



「ぼくは君たちと同じ。」とその生き物は続けていった。

「唯一の違いは、ほとんどすべてのものにおいて、ぼくは2つ持っていることだよ。」

1. 君の体で2つあるものと、1つしかないものは何かかな？

2. 君が1つだけ持っている体の部位は、体の側面にあるかな、それとも中央にあるかな？

3. 君の知り合いを思い浮かべてみよう。君と似ている点を3つ、違う点を3つ挙げてみよう。



こうしてイザンザウ一家は、その生き物が恐ろしいものではないことを知った。それは単に彼らと異なる姿だったのだ。

1. その生き物は2色の縞模様のシャツを着ているのに、他の人のシャツは1色しかない。作家はなぜそんなことをしたのだろうか？

2. イザンザウ家は6人。さらに「生き物」を1人加えると何人になる？

3. この7人を身長順に並べ、背の低い人を左、高い人を右にすると、どのような順番になる？この順番を服の色を使って説明しよう。

Creature with two

Author -- Mlungisi Madlala and Ntombikayise Ngidi

Illustration -- Jesse Breytenbach

Language -- English

Level -- First paragraphs

© African Storybook Initiative 2016

Creative Commons: Attribution 4.0

Source www.africanstorybook.org